

2018年度 関西大学 研修員

研究支援・社会連携グループ

学部	人数枠	資格	氏名	期間	主たる研究先	研究内容の概要	備考
法	春学期1名 秋学期1名 の2名以内	教授	角田 猛之	2018.4.1 ～ 2018.9.20	1.個人研究室 2.自宅 3.ニューージーランド・オークランド大学法学部 4.中国・長春理工大学法学院 5.台湾・輔仁カトリック大学法学院	1.2013年に単著にて出版した「日本社会と法＜法と社会＞のトピック分析」および、同年出版の「＜社会・文化・法＞のトピック分析—犯罪・宗教・マイノリティ」の全面改訂を行う。 2.他の共同編集者4名と編集している「千葉正士全集」の担当巻の刊行を行う。 3.ニューージーランド、中国、台湾に居住する先住民の＜社会・文化・法＞の調査、研究、文献収集を行う。	
		教授	坂本 治也	2018.9.21 ～ 2019.3.31	1.関西大学 2.アメリカ合衆国ロサンゼルス 3.ロサンゼルス公共図書館	「ボランティアの失敗」に関する理論的・実証的研究を行う。具体的には、「ボランティアの失敗」の発生事例や未然に防ぐ方法について、アメリカ合衆国カリフォルニア州にあるNPOを題材に現地調査を行い分析する。	
文	春学期2名 秋学期1名 または 春学期1名 秋学期2名 の3名以内	教授	山ノ内 裕子	2018.9.21 ～ 2019.3.31	1.関西大学 2.国立国会図書館 3.ブラジル連邦共和国：サンパウロ人文科学研究所 4.海外移住資料館	日系ブラジル人の文化とアイデンティティに関する教育人類学研究を行う予定である。具体的にはブラジルの日系社会および日本の各地に点在する日系ブラジル人集住コミュニティの資料収集およびフィールドワーク調査を行い、日系ブラジル人の文化とアイデンティティについて研究する。	
経	春学期1名 秋学期1名 の2名以内	教授	榊原 雄一郎	2018.4.1 ～ 2018.9.20	1.宮城県自動車関連企業 2.宮城県庁、仙台市役所、商工会議所	東北地方の自動車産業に関する研究について、地元自治体と共同で東北地域のフィールドワークおよびアンケート調査を進め、情報収集を行いながら、研究成果を論文にまとめる。また、現在執筆中である著書および論文についても完成させる予定である。	
		教授	新熊 隆嘉	2018.9.21 ～ 2019.3.31	1.関西大学個人研究室 2.McGill University(Canada)	これまでに手掛けるものの、未完の状態にある研究の完成を目指す。その中でも特に海外の大学にいる共同研究者との共同研究について、現地でディスカッションを行い、研究を遂行させる。	
商	春学期1名 秋学期1名 の2名以内	教授	カーティス・ハート・ケリー	2018.9.21 ～ 2019.3.31	1.ハワイ大学 2.ミシガン州立大学	脳科学と言語教育の繋がりについての研究を深める。具体的には次の項目の研究を予定している。 1.neuroELTの分野の原理の確立 2.感情と学習修得の相互作用 これらの研究について、学術書の章を著書する。	
		教授	吉田 友之	2018.9.21 ～ 2019.3.31	1.関西大学個人研究室 2.ジェトロ東京(本部)	貿易業者にとって必須の知識である取引契約内容を定型化したトレード・タームズ(貿易定型取引条件)の現在の使用実態を明らかにし、あわせて従来より反復的・継続的に調査・研究してきたトレード・タームズの使用実態と現在のその実態の時系列的比較考察を行う。	
社	春学期1名 秋学期1名 の2名以内	被選考者なし					
政策	春学期1名または 秋学期1名 の1名以内	被選考者なし					
外国	春学期1名または 秋学期1名 の1名以内	被選考者なし					

※ 規程 第3条第1項による在職年数(2018年4月1日現在)に抵触するものではありません。

2018年度 関西大学 研修員

研究支援・社会連携グループ

学部	人数枠	資格	氏名	期間	主たる研究先	研究内容の概要	備考
人間	春学期1名または 秋学期1名 の1名以内	教授	山縣 文治	2018.10.1 ～ 2019.3.31	1.自宅 2.厚生労働省 3.国立国会図書館	社会的養護改革の進捗状況と実践現場における課題の検討を行う。具体的には、2016年の児童福祉法改正において、社会的養護のあり方が大きく変わった際、当時の国の委員を経験して感じた現場の状況について、十分な時間をかけて調査する予定である。	
総情	春学期1名 秋学期1名 の2名以内	教授	黒上 晴夫	2018.4.1 ～ 2018.9.20	1.東北学院大学 2.文部科学省 3.東京学芸大学	新しい学習指導要領の実施にともなう情報活用能力および思考スキルについてのカリキュラムと評価方法の実態について調査し、最適化のためのマネージメントについて検討する。	
社安	春学期1名または 秋学期1名 の1名以内	被選考者なし					
シス理	春学期1名 秋学期1名 の2名以内	被選考者なし					
環都	春学期1名 秋学期1名 の2名以内	被選考者なし					
化生	春学期1名 秋学期1名 の2名以内	被選考者なし					
法務	春学期1名または 秋学期1名 の1名以内	教授	山名 京子	2018.9.21 ～ 2019.3.31	1.関西大学法学研究所 2.マックスプランク外国・国際刑事法研究所(ドイツ)	科学的捜査および科学的根拠と証拠法則について、これまで関西大学法学研究所の研究班で研究した内容を更に深める。また、合意制度および刑事免責制度についての研究も深める。各研究テーマとも、関西大学法学研究所およびドイツ・フライブルクのマックスプランク外国・国際刑事法研究所において研究を行う。	
会計	春学期1名または 秋学期1名 の1名以内	被選考者なし					
心理	春学期1名または 秋学期1名 の1名以内	被選考者なし					
教育	春学期1名または 秋学期1名 の1名以内	被選考者なし					
国際	春学期1名または 秋学期1名 の1名以内	被選考者なし					

※ 規程 第3条第1項による在職年数(2018年4月1日現在)に抵触するものではありません。